令和３年度原子力防災研修

受講者募集案内

原子力防災輸送関係者研修

令和４年２月

宮城県

宮城県復興・危機管理部

原子力安全対策課

1. はじめに

民間の輸送関係者（バス事業者、タクシー事業者、トラック事業者、船舶事業者等）の安全確保については、防災基本計画において、国が放射線防護に係る基準を定めることや、国及び地方公共団体が安全確保のための防災資機材の整備や必要な研修、教育訓練を行うこと等が定められています。

原子力防災輸送関係者研修では、原子力災害時に支援いただくにあたって必要となる放射線防護の基礎知識、住民防護の基本的考え方等の習得を目的としておりますので、御多忙と存じますが，原子力防災輸送関係者の皆様に是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 防災輸送関係者研修の概要
	1. 目的

原子力災害が発生した際に、住民避難、物資輸送等に必要な支援を依頼する民間の輸送関係者（バス事業者、タクシー事業者、トラック事業者、船舶事業者等）を対象として、原子力災害時の支援に必要となる放射線防護の基礎知識、住民防護の基本的考え方の定着化を図り、地域の防災力向上に資することを目的とします。

* 1. 対象者

民間の防災輸送関係者（バス事業者、タクシー事業者、トラック事業者、船舶事業者等の輸送関係者）

* 1. 定員

30名／各回

* 1. カリキュラム

別添１「輸送関係者研修カリキュラム」をご参照ください。

* 1. 開催場所・申込期間等

| 回数 | 開催日時 | 会　場 | 申込締切日 |
| --- | --- | --- | --- |
| 第１回 | 令和４年2月１７日(木) | 仙台市青葉区青葉山無番地仙台国際センター　白檀1 | 令和４年２月３日(木) |
| 第２回 | 令和４年2月1８日(金) | 宮城県石巻市開成1-8マルホンまきあーとテラス |

※研修カリキュラムは１日間です。ご都合のよい日をお選びください。

* 1. 本研修における新型コロナウイルス感染症対策について

以下により、新型コロナウイルス感染症対策をしっかり講じた上で実施します。

・会場はソーシャルディスタンスを確保した座席配置とし、講師はマスク着用等の飛沫防止対策を実施します。

・入口には消毒液を配置します。

・受講者及び関係者は全員マスク着用とします。

・1時間に２回程度を目安に、十分な換気を実施します。

　　　　・実習は、近接した会話を回避の上、教材を直接共有することはありません。

* 1. その他

・旅費は宮城県が負担します。詳細は受講決定通知の際、お知らせします。

・昼食は各自でご用意頂くか、感染症対策が講じられた近隣の施設をご利用ください。

・新型コロナウイルスの感染防止対策のため、マスクを着用の上、手洗いや消毒の徹底について御協力お願いします。また、研修前後や休憩時間等の密閉、密集、密接の回避にご留意ください。

・発熱や体調不良のある場合や、２週間以内に感染流行国又は国内の感染流行地域へ旅行・出張した方は、受講をお断りする場合があります。

　３．受講申込要領

(1)申込締切り　　令和４年２月３日（木）

(2)申込方法

別添２の申込票に必要事項を記入の上、下記の宛先に電子メールで送付してくだ

さい。

※電子メールをご使用になれない場合は、FAXで送信してください。

(3)受講決定の通知

期間内に申し込みされた方を、原則定員の範囲内で受け付けます。受講が決定された方には、研修開催の５日前までにメールもしくはFAXでお知らせいたします。

**※なお、申込多数の場合、定員の範囲内で申込者の調整をさせて頂く場合がありますので、ご了承願います。また、新型コロナウイルス感染症や、風水害、地震等の自然災害などの状況による中止する場合もありますので、あわせてご了承願います。**

**※参加に係る旅費等に関しましては追ってお知らせいたします。**

本研修の運営は、宮城県が委託した下記の者が代行します。

研修の申し込み、お問合せは、下記にお願いいたします。

|  |
| --- |
| 申込先、問合せ先公益財団法人原子力安全技術センター　　　　　　　原子力安全部 研修講習出版グループ　電子メール ：kiso-bosyu@nustec.or.jp募集用FAX：０３－５６８４－３０７７電　　話 ：０３－３８１４－６９２１(受付時間：9:30～17:30) |

別添１

令和３年度原子力防災輸送関係者研修　カリキュラム



＊一部変更となることがあります。